

令和5年度 福岡市人権尊重週間「第52回人権を尊重する市民の集い」

福岡市人権尊重行事推進委員会では、人権が真に尊重され、差別のない住みよい福岡市の実現に向けて、昭和47年から福岡市人権尊重週間(12月4日～10日)に各種行事を実施しています。

本年度もその取組の一つとして「人権を尊重する市民の集い」を下記のとおり各区で実施いたします。多くの方のご参加をお待ちしています。

- 1 時間 午後2時～午後3時40分
- 2 申込 東区は要申込(先着)、その他の区は申込不要(当日先着)。
詳細は、ホームページをご覧ください。



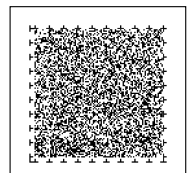
◀ ホームページはこちら

開催日	区	講師・演題	定員	会場・問い合わせ先	交通機関・最寄駅
12/4 (月)	早良	まの ゆたか 眞野 豊 セクシュアリティと人権 鳴門教育大学大学院 学校教育研究科 准教授	500人 録画配信有	早良市民センター 早良区百道2丁目2番1号 早良区生涯学習推進課 電話：833-4401 FAX：851-2680	西鉄バス 「藤崎バスターミナル」 地下鉄 「藤崎駅」
12/4 (月)	西区	サヘル・ローズ 俳優 出会いこそ、生きる力	800人	西市民センター 西区内浜1丁目4番39号 西区生涯学習推進課 電話：895-7026 FAX：882-2137	西鉄バス 「姪浜駅」 地下鉄 「姪浜駅」 昭和バス 「姪浜駅」
12/5 (火)	城南	のぶとも なおこ 信友 直子 認知症の母が命懸けて教えてくれたこと 映画監督 ノンフィクション作家	450人 録画配信有	城南市民センター 城南区片江5丁目3番25号 城南区生涯学習推進課 電話：833-4043 FAX：822-2142	西鉄バス 「東七隈」 地下鉄 「七隈駅」
12/6 (水)	博多	いしい ますみ いしい ちあき 石井 眞澄、石井 千晶 部落問題と向き合う私たち ～結婚差別を乗り越えて～	480人 録画配信有	博多市民センター 博多区山王1丁目13番10号 博多区生涯学習推進課 電話：419-1025 FAX：419-1029	西鉄バス 「山王公園前」 「山王1丁目」
12/7 (木)	東区	えがわ しょうこ 江川 紹子 混迷の時代を生きる“命の重さ” ジャーナリスト	500人 要申込	東市民センター(なみきスクエア) 東区千早4丁目21番45号 東区生涯学習推進課 電話：645-1144 FAX：645-1042	JR鹿児島本線 「千早駅」 西鉄貝塚線 「千早駅」 西鉄バス 「千早駅」「名香野」
12/8 (金)	南区	かずえちゃん ユーチューバー ゲイの僕が伝えたいLGBTQのこと ～いないのではなく、言えない社会～	800人 録画配信有	南市民センター 南区塩原2丁目8番2号 南区生涯学習推進課 電話：559-5172 FAX：562-3824	西鉄バス 「南市民センター前」 西鉄天神大牟田線 「大橋駅」 JR鹿児島本線 「竹下駅」
12/9 (土)	中央区	おおぞら こうき 大空 幸星 望まない孤独をなくしたい ～自己責任社会にある「あなたのいばしょ」～ NPO法人あなたのいばしょ 理事長	500人	中央市民センター 中央区赤坂2丁目5番8号 中央区生涯学習推進課 電話：718-1068 FAX：714-2141	西鉄バス 「赤坂門」「警固町」 地下鉄 「赤坂駅」

※ 手話通訳・要約筆記を実施します。

※ 会場へは、公共交通機関をご利用ください。

※ 録画配信視聴希望の方は、ホームページ内の専用フォームより、12月11日までに
お申し込みください。南区の録画配信のみ申込不要でご視聴いただけます。



Uni-Voice

講師のご紹介

開催日 会場	講師	プロフィール等
12/4 (月) 早良 市民センター	 眞野 豊	1981年北海道生まれ。九州大学大学院地球社会統合科学府博士後期課程修了。2017年に「性の多様性を前提とした学校教育の開発」で博士号取得。日本学術振興会特別研究員(PD)などを経て、現在、鳴門教育大学大学院学校教育研究科准教授。専門は、社会学(ジェンダー、セクシュアリティ)。主著に「多様な性の視点でつくる学校教育—セクシュアリティによる差別をなくすための学びへ」(松籟社 2020年)がある。
12/4 (月) 西 市民センター	 サヘル・ローズ	イラン出身。8歳で来日し、高校生から芸能活動を始める。舞台『恭しき娼婦』では主演を務め、主演映画『冷たい床』では、ミラノ国際映画祭で最優秀主演女優賞を受賞するなど、映画や舞台・俳優としても活動の幅を広げている。また、第9回若者力大賞を受賞。国際人権団体NGOの「すべての子どもに家庭を」の活動では親善大使を務めた。個人的にも支援活動を続け、2020年にはアメリカで人権活動家賞も受賞。13年ぶりの新著「言葉の花束～困難を乗り越えるための自分育て～」も好評発売中。
12/5 (火) 城南 市民センター	 信友 直子	1961年広島県呉市生まれ。東京大学文学部卒業後、フジテレビを中心に多くのテレビドキュメンタリーを制作。代表作2009年「おっばいと東京タワー～私の乳がん日記」など。2018年には、認知症の母を90代の父が看る老老介護の現実を娘の視点から捉えた映画「ぼけますから、よろしく願います。」が、大反響を呼んだ。2022年には母を看取った続編「ぼけますから、よろしく願います。～おかえりお母さん～」を発表。執筆、講演活動などを通して、介護、夫婦愛、家族愛について発信し続けている。
12/6 (水) 博多 市民センター	 石井 千晶、石井 眞澄	部落で育った妻・千晶さんと、親に部落出身者と付き合うことを反対された夫・眞澄さん。現在は、お互いの家族の理解を得て、幸せな夫婦生活を送っているが、幾多の困難を乗り越えてきた。その後、二人は自身の部落差別にまつわる経験を若い世代を中心に、さまざまな人たちに伝えたいと各地で講演活動をしている。差別に対して逃げることなく、明るく前向きに立ち向かう姿勢に心打たれる。
12/7 (木) 東 市民センター	 江川 紹子	1958年東京都生まれ。1982年に早稲田大学政治経済学部政治学科を卒業後、神奈川新聞社に入社。1987年に同社を退社後、フリーライターとなる。国際情勢や国内の社会問題、教育問題、人権・平和等に関して、精力的に取材・執筆。近年では、災害、カルト問題のほか、プレサンス事件や袴田事件などの冤罪事件、裁判記録の保存など司法を巡る様々な問題を追及。2020年から神奈川大学特任教授を務める。著書に、『「オウム真理教」追跡2200日』(文藝春秋社)など。
12/8 (金) 南 市民センター	 かずえちゃん	1982年福井県生まれ。会社勤務を経て30歳で約3年カナダ留学。帰国後2016年ユーチューブ開始。LGBTQって身近にいるよ、あなたは一人じゃないよ、と伝える動画配信や講演活動、オンラインサロン「かず部屋」等コミュニティ交流等に力を注ぐ。2020年8月ダイバーシティを推進する三洋化成工業(京都)にかずえちゃんとして入社し社員研修やワークショップ等も。カミングアウトやLGBTQの言葉が必要なくなる社会を目指し日々活動。日本と台湾の二拠点生活中。
12/9 (土) 中央 市民センター	 大空 幸星	1998年生まれ。慶應義塾大学総合政策学部卒業。令和2年3月、「信頼できる人に確実にアクセスできる社会の実現」と「望まない孤独の根絶」を目的にNPO法人あなたのいばしょを設立し、24時間365日誰でも無料・匿名で利用できるチャット相談窓口を開設。孤独対策、自殺対策等をテーマに活動し、内閣官房孤独・孤立の実態把握に関する研究会構成員、内閣官房孤独・孤立対策担当室HP企画委員会委員、こども家庭庁こども家庭審議会こどもの居場所部会委員などを務める。